

MD100 完全版 1 対 1・1 対 N 照合マニュアル

このマニュアルでは「MD100」の 1 対 1 照合モード／1 対 N 照合モードに関し詳細に記載します。

Ver2.10

内容

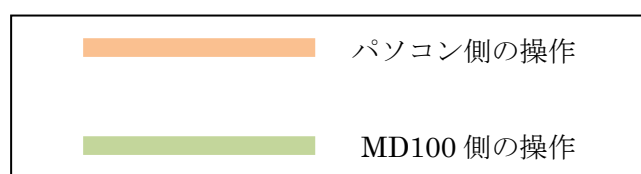
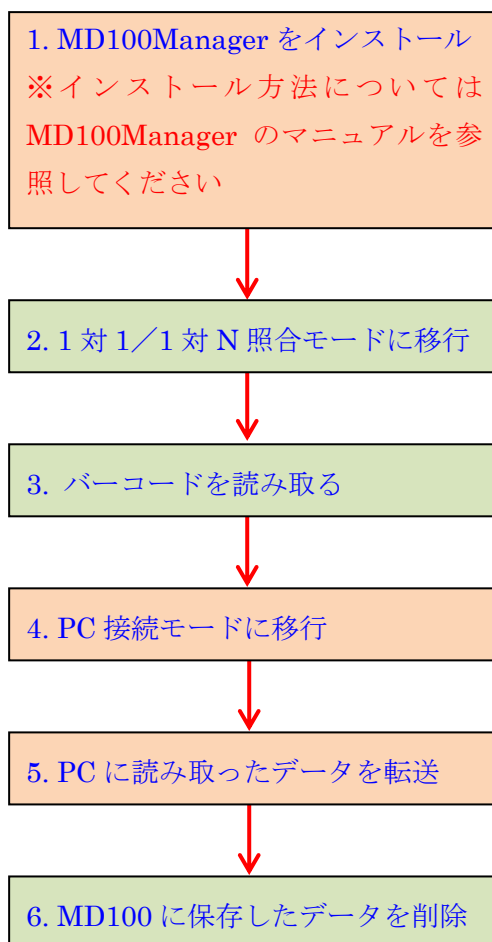
◆モードの違い	3
◆照合モード操作手順概略	4
◆1対1照合モードに切り替える	5
◆1対N照合モードに切り替える	7
◆1対1照合モード・1対N照合モードの操作説明	9
◆1対1照合モード・1対N照合モードの液晶	10
◆照合を行う	11
◆データ不一致の場合	12
◆照合元ボタンを使う	13
◆PCヘデータの取り込み	14
◆スキャン設定	17
確認送信	17
日付付加	17
時間付加	18
時間の設定	18
スキャン方法	18
画面設定	18
ビープ音設定	19
バイブ設定	19
設定の初期化	19
「”」でデータを囲む	19
◆照合カラム設定	20
1.照合元開始桁位置のカウンタ開始方向を設定する	21
2.照合元の開始桁位置を設定する	21
3.照合元の照合桁数を設定する	22
4.照合先開始桁位置のカウンタ開始方向を設定する	23
5.照合先の開始桁位置を設定する	23
6.照合先の照合桁数を設定する	24
◆端末番号設定	25
◆ファイル操作	26
履歴確認	26
1.ファイル操作から確認する	26
2.照合モードから確認する	27
3.履歴確認モード操作説明	28
メモリの初期化	30

◆モードの違い



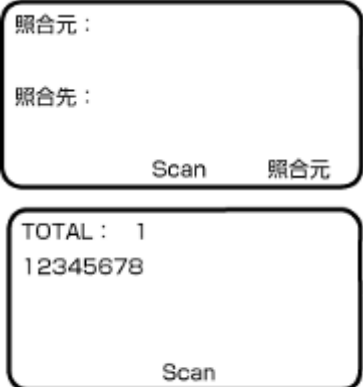
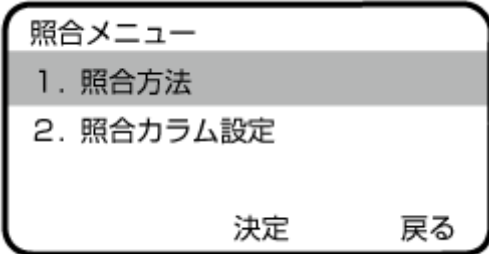
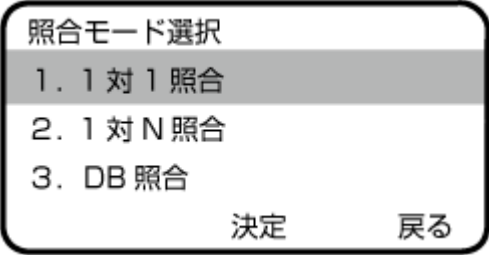
MD100には「1対1モード」と「1対Nモード」と「DB照合モード」の三パターンの照合方法があります。それぞれのモードについて簡単に説明します。

モード名	説明	イメージ
1対1モード	<p>1つの照合元から1つの照合先を照合するモードです。</p> <p>2つの商品が同じ商品かを確認したりする際等に使います。</p>	
1対Nモード	<p>1つの照合元から複数の照合先を照合するモードです。</p> <p>1つの同商品のBOXに間違っった製品が混入していないかを調べる際等に使います。</p>	
DB照合モード	<p>予め登録しておいたデータを使い、照合を行います。</p> <p>読み取ったバーコードに対応する商品名を表示されることができるようになります。</p>	

◆照合モード操作手順概略



◆1対1照合モードに切り替える

<p>MD100の電源を入れます。</p>	
<p>「照合モード」を選択します。</p> <p>※この画面ではない画面などの場合は、一度電源を切り、もう一度電源を入れなおしてください。</p>	
<p>①もしくは②に画面が切り替わります。</p> <p>ここで右矢印キーを押してください。</p>	
<p>照合メニューから「照合方法」を選択します。</p>	
<p>「1対1照合」を選びます。</p>	

右の画面が表示されたら切り替え完了です。

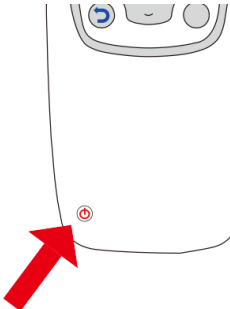

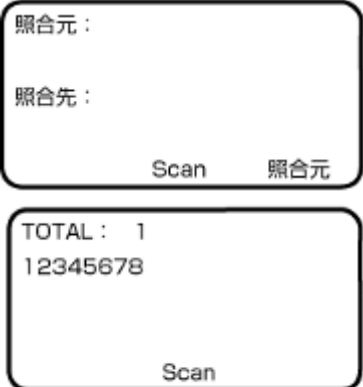
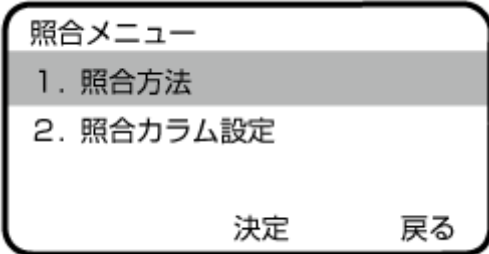
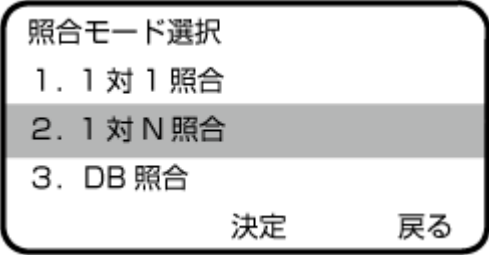
照合元：

照合先：

Scan

照合元

◆1対N照合モードに切り替える

<p>MD100の電源を入れます。</p>	
<p>「照合モード」を選択します。</p> <p>※この画面ではない画面などの場合は、一度電源を切り、もう一度電源を入れなおしてください。</p>	
<p>①もしくは②に画面が切り替わります。</p> <p>ここで右矢印キーを押してください。</p>	
<p>照合メニューから「照合方法」を選択します。</p>	
<p>「1対N照合」を選びます。</p>	

右の画面が表示されたら切り替え完了です。

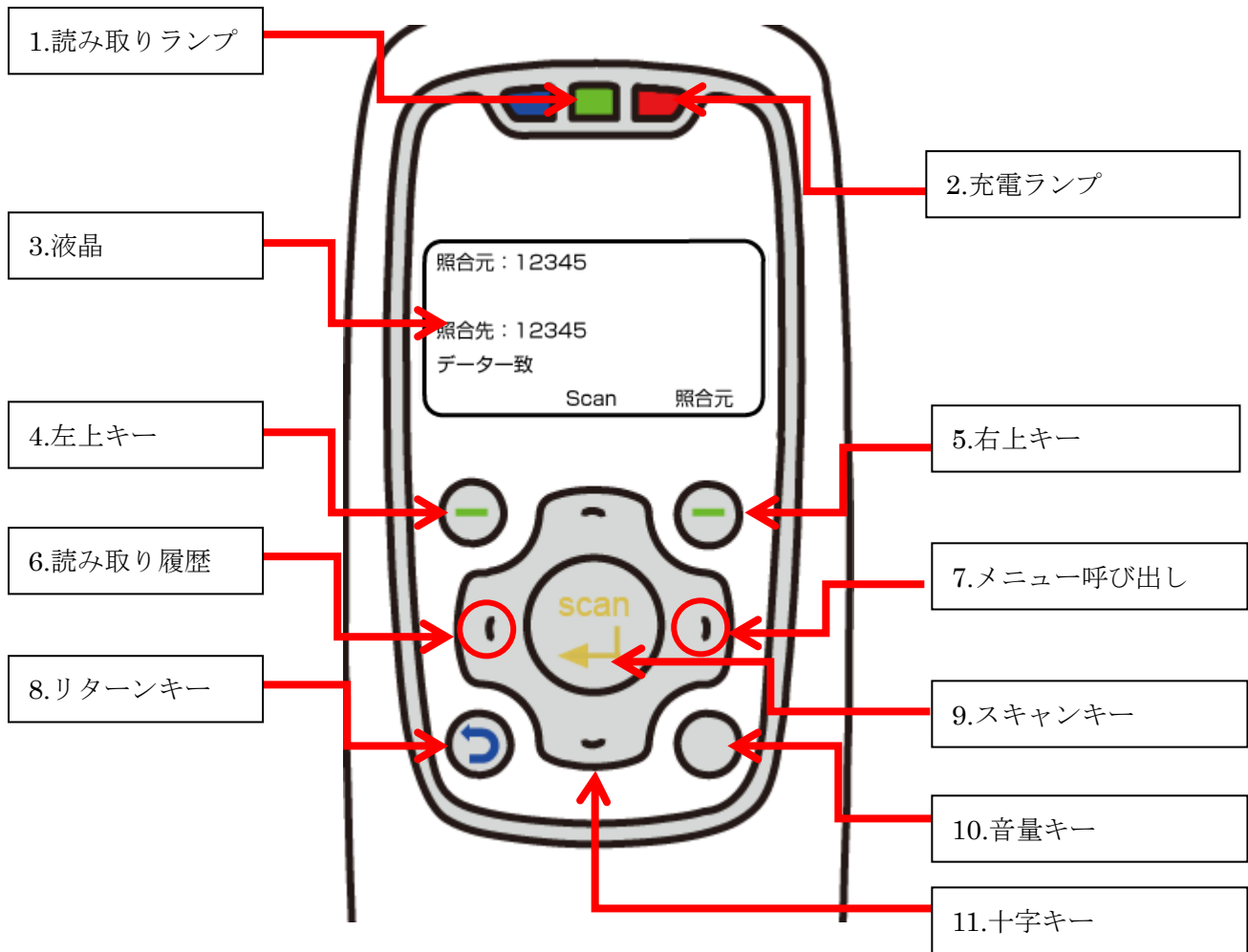
照合元：

照合先：

Scan

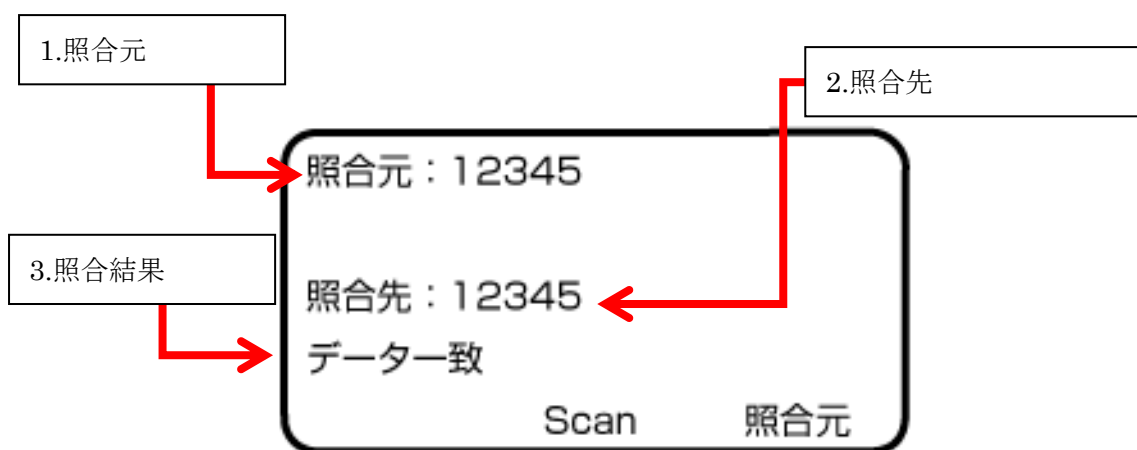
照合元

◆1対1照合モード・1対N照合モードの操作説明



項目	説明
1.読み取りランプ	バーコードを読み取ると緑色のランプが点灯します。
2.充電ランプ	MD100 を充電すると点灯します。
3.液晶	読み取ったバーコードや照合結果を表示します。
4.左上キー	モードによって使用します。 常時照射モード時、電源以外は操作を受け付けませんがこのキーを押しながら他のキーを組み合わせることで操作を受け付けることが可能です。
5.右上キー	照合元へ戻ります。
6.読み取り履歴	バーコードを読み取りした後、その読み取った履歴を表示します。
7.メニュー呼び出し	照合モード切り替えやカラムの設定が可能です。
8.リターンキー	メニューに戻ります。
9.スキャンキー	バーコードを読み取ります。 常時照射時は必要ありません。
10.音量キー	ボタンを押す毎にミュート→小→中→大の順で音量を切り替えます。
11.十字キー	カーソルの移動等メニュー操作や個数入力時に使用します。

◆1対1照合モード・1対N照合モードの液晶



項目	説明
1.照合元	照合する元のデータです。
2.照合先	照合元と一致しているかを確認するデータです。
3.照合結果	照合結果が一致している場合は「データ一致」、照合結果が一致していない場合は「◆◆不一致◆◆」と表示されます。







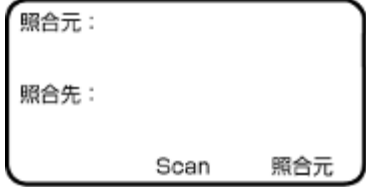

◆照合を行う

1対1照合モード、又は1対N照合モードに移行した状態で行ってください。

・データ一致の場合

1	照合元となるバーコードを読み取ります。 ※右の画像は例です。	
2	照合元にバーコードが登録されました。	
3	照合先となるバーコードを読み取ります。 ※右の画像は例です。	
4	同じデータ同士なので「データ一致」と表示されました。 ここからモードによって動きが異なります。 1対1モード・・・5へ 1対Nモード・・・6へ	
5	1対1モードの場合は照合元に戻ります。 ※項番1に該当します。	
6	1対Nモードの場合は照合先に残ります。 ※項番3に該当します。	

◆データ不一致の場合

1	照合元となるバーコードを読み取ります。 ※右の画像は例です。	 12345
2	照合元にバーコードが登録されました。	
3	照合先となるバーコード(照合元として読み取ったバーコードとは異なるバーコード)を読み取ります。 ※右の画像は例です。	 ABCDE
4	違うデータのため「◆◆不一致◆◆」と表示されます。 ※不一致の場合は1対1モードでも照合元に自動で戻りません。	
5	照合先となるバーコード(照合元として読み取ったバーコード)を再度読み取ります。 ※右の画像は例です。	 12345
6	照合元と同じデータなので「データ一致」と表示されました。 ここからモードによって動きが異なります。 1対1モード・・・7へ 1対Nモード・・・8へ	
7	1対1モードの場合は照合元に戻ります。	
8	1対Nモードの場合は照合先に残ります。	

◆照合元ボタンを使う

照合元ボタンを使うと照合先の読み取りをキャンセルして照合元に戻ります。

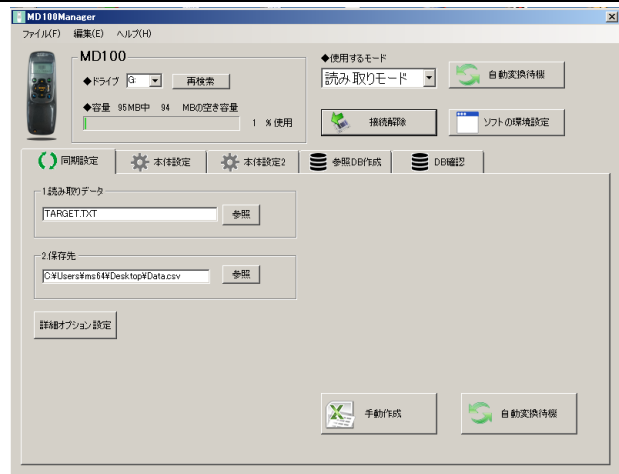
※一度読み取った照合元は「照合元ボタン」を押してもメモリには保存されたままとなります。

<p>照合元となるバーコードを読み取ります。 ※右の画像は例です。</p>	
<p>照合元にバーコード（「12345」）が登録されました。</p>	
<p>ここで次は「右上キー」を押します。</p>	
<p>照合元のバーコード（「12345」）が消え、新たな照合元を読み取れるようになります。</p>	

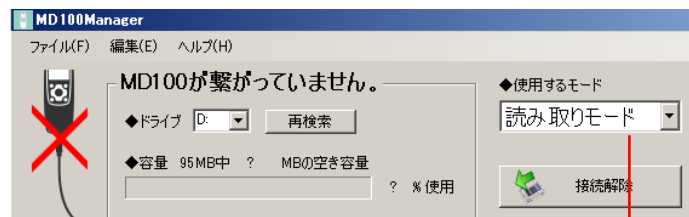
◆PC ヘータの取り込み

<p>デスクトップ、もしくはスタートメニュー等より「MD100Manager」を起動します。</p>	
<p>右のようなソフトが立ち上がれば起動完了です。</p>	
<p>MD100 の設定に入ります。 電源を入れて「PC と通信」を選択します。</p>	
<p>この状態で付属のケーブルと PC を接続します。</p>	
<p>パソコン側に右のような画面が出てきたら「閉じる」を押してください。</p>	

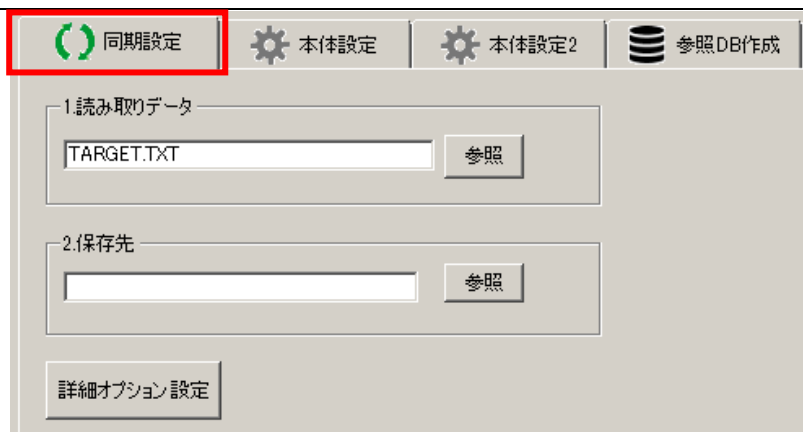
右図のようにMD100が認識されたら接続が完了しています。



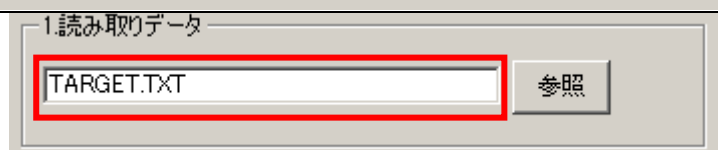
使用するモードが「読み取りモード」のときは「照合モード」に切り替えます。



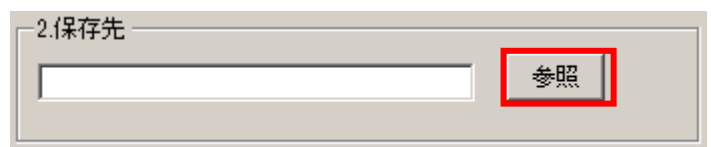
ソフトを起動した状態で「同期設定」をクリックします。
※右の画像の赤の四角



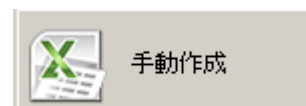
読み取りデータが「TARGET.TXT」になっていることを確認して下さい。

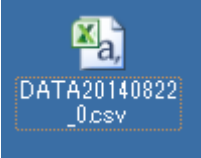



「保存先」の「参照」をクリックします。
保存先の指定画面が出るので保存したい場所とファイル名を指定します。
※ファイル名は
「ファイル名」+「日付」+「ナンバー」になります。



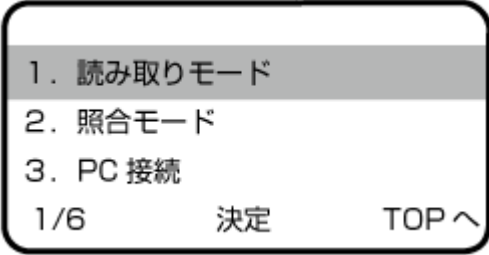
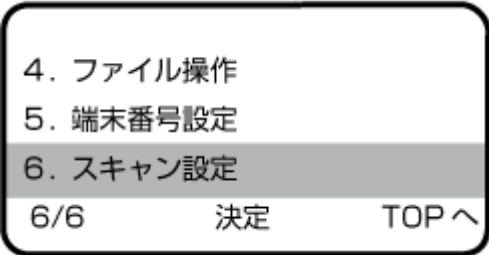
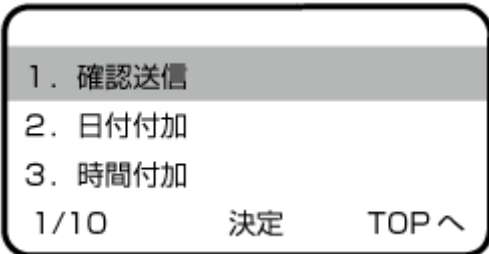
手動作成ボタンを押すと保存されます。



<p>※ファイル名は 「ファイル名」 + 「日付」 + 「ナンバー」 になります（右図参照）。</p>	
<p>「接続解除」を押して安全な取り外しを行います。</p>	
<p>PC への取り込み完了後は「メモリの初期化」 を行って下さい。</p>	

◆スキャン設定

確認送信、日付付加、時間付加、スキャン方法、ビープ音、パイプ、「”」囲み、時間設定、バックライト OFF、設定の初期化をする際に使います。

読み取りモードから戻る、もしくは MD100 の電源を一度 OFF にして再度 ON にして右のような画面にしてください。	
上キー、もしくは下キーでカーソルを移動して「スキャン設定」に移動してください。	
スキャン設定のモードに切り替わりました。	

確認送信

項目	説明
無効 (※)	何もしません。
有効	バーコードの読み取り時に確認画面を表示します。 「キャンセル」を選ぶとデータは破棄されます。 「確定」を選ぶとデータが MD100 に保存されます。

(※) はデフォルト設定

日付付加

項目	説明
無効 (※)	何もしません。
有効	年/月/日をバーコードの後に付加します。 例： 12345,2014/06/08

(※) はデフォルト設定

時間付加

項目	説明
無効 (※)	何もしません。
有効	時/分/秒をバーコードの後に付加します。 例： 12345, 22:43:23

(※) はデフォルト設定

時間の設定

項目	説明
時間	時/分/秒を設定します。
日付	年/月/日を設定します。

スキャン方法

項目	説明
トリガーモード(※)	押している間、レーザーを照射します。
グッドリード	スキャンボタンを押すとレーザーを一定時間照射します。 ※照射中はボタン操作を受け付けられないので注意してください。
オートスキャン	読み取りモードに切り替わるとレーザーを自動で照射開始します。 ※常時照射モードにして読み取りモードに入ると誤操作防止のためにボタン操作を受け付けません。 左上キーを押しながら他のキーを操作してください。

(※) はデフォルト設定

画面設定

項目	説明
スリープモード	スリープモードに移行するまでの時間を設定します。 スリープモードに移行すると電源ボタンの長押しを行いスリープを解除するまで操作を受け付けません。
バックライト	バックライトを点灯する時間を指定します。 バックライトが消灯した状態で、いずれかのキーを押すとバックライトは点灯します。
履歴閲覧設定	履歴表示画面で左右矢印キーを押したときの動作方法を設定します。 「スピード優先」を選択すると、右矢印キーで次ページ表示し、左矢印キーで前ページを表示します。 「右矢印で全体」を選択すると、右矢印キーで選択されているデータの全体を表示し、左矢印キーで前ページを表示します。

ビープ音設定

説明
4段階で音量を設定できます。 ミュートにすると音を出しません。 音量「中」がデフォルト設定です。

バイブ設定

説明
読み取り時になるバイブを設定出来ます。 デフォルト値は「ON」です。

設定の初期化

説明
設定のみを購入時に戻すことが出来ます。 読み取ったデータは削除されません。

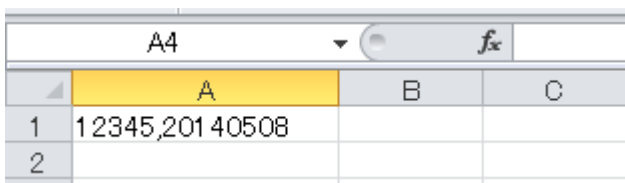
「”」でデータを囲む

項目	説明
無効 (※)	何もしません。
有効	バーコードデータを「”」で囲みます。 「12345」と言うコードを読み取ると「”12345”」になります。 これは下記のような「カンマ」入りバーコードを読み取った際の表示に関係します。

(※) はデフォルト設定

例：バーコード「12345,20140508」を読み取った時

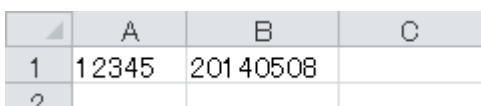
1. 「”」付加を有効



The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following data:

	A	B	C
1	'12345,20140508'		
2			


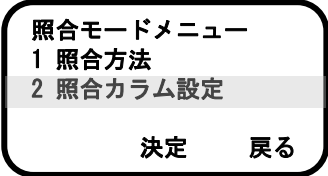
2. 「”」付加を無効



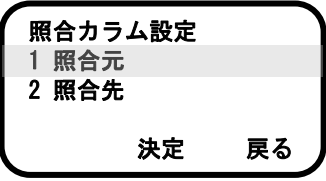
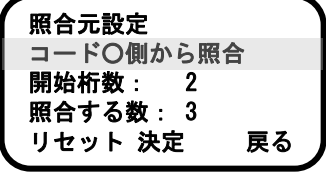
The screenshot shows an Excel spreadsheet with the following data:

	A	B	C
1	12345,20140508		
2			

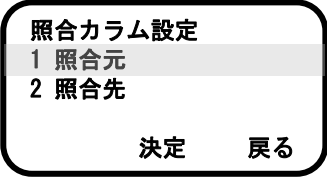
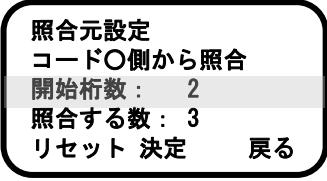
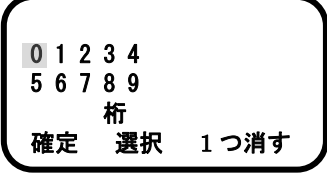
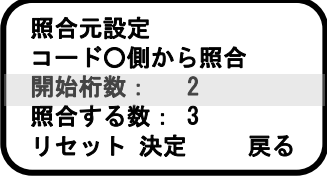
◆照合カラム設定

<p>1 対 1 照合モードまたは 1 対 N 照合モードの状態で右矢印キーを押してください。</p>	
<p>照合モードメニューから「照合カラム設定」を選択します。</p>	

1.照合元開始桁位置のカウンタ開始方向を設定する

<p>「照合元」を選択します。</p>	
<p>「コード〇側から照合」を選択し決定ボタンを押すと「右側から照合」、「左側から照合」と交互に切り替わります。</p> <p>開始桁位置として指定する値が先頭からの値であれば「左側から照合」を、末尾からの値であれば「右側から照合」を指定します。</p>	

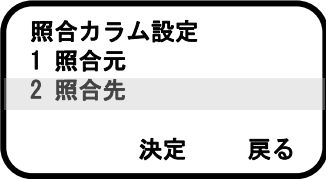
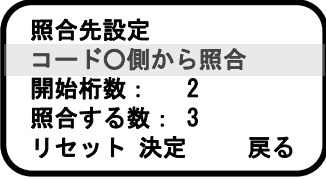
2.照合元の開始桁位置を設定する

<p>「照合元」を選択します。</p>	
<p>「開始桁数」を選択してください</p>	
<p>開始する桁位置を選択します。</p> <p>例：バーコード「12345」の「2」から読み取りたい場合は2桁目なので「2」を指定します。</p> <p>指定したら左上キーで確定します。</p>	
<p>確定後反映されているのを確認して下さい。</p>	

3.照合元の照合桁数を設定する

<p>「照合元」を選択します。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px;"> <p>照合カラム設定</p> <p>1 照合元</p> <p>2 照合先</p> <p style="text-align: right;">決定 戻る</p> </div>
<p>「照合する数」を選択してください</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px;"> <p>照合元設定</p> <p>コード〇側から照合</p> <p>開始桁数： 2</p> <p>照合する数： 3</p> <p>リセット 決定 戻る</p> </div>
<p>開始位置から何桁照合するかを設定します。</p> <p>「コード左側から照合」のとき、開始桁数を「2」、照合する数を「3」に設定してバーコード「12345」を読み取った場合、「234」の部分で照合に使用します。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px;"> <p>0 1 2 3 4</p> <p>5 6 7 8 9</p> <p style="text-align: center;">桁</p> <p>確定 選択 1つ消す</p> </div>
<p>確定後反映されているのを確認して下さい。</p>	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 10px;"> <p>照合元設定</p> <p>コード〇側から照合</p> <p>開始桁数： 2</p> <p>照合する数： 3</p> <p>リセット 決定 戻る</p> </div>

4.照合先開始桁位置のカウンタ開始方向を設定する

<p>「照合先」を選択します。</p>	
<p>「コード〇側から照合」を選択し決定ボタンを押すと「右側から照合」、「左側から照合」と交互に切り替わります。</p> <p>開始桁位置として指定する値が先頭からの値であれば「左側から照合」を、末尾からの値であれば「右側から照合」を指定します</p>	

5.照合先の開始桁位置を設定する

<p>「照合先」を選択します。</p>	
<p>「開始桁数」を選択してください</p>	
<p>開始する桁位置を選択します。</p> <p>例：バーコード「12345」の「2」から読み取りたい場合は2桁目なので「2」を指定します。</p> <p>指定したら左上キーで確定します。</p>	
<p>確定後反映されているのを確認して下さい。</p>	

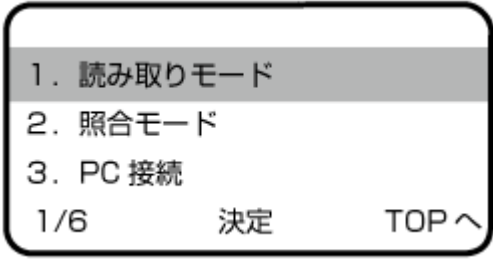
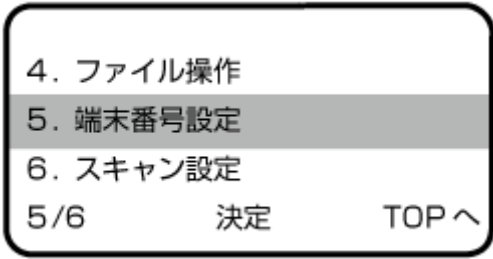
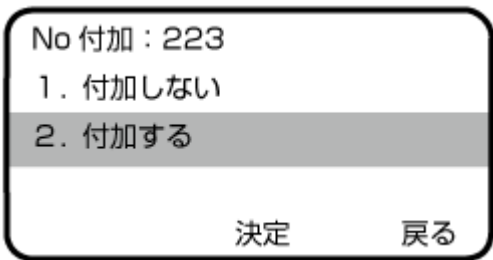
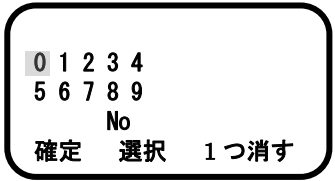
6.照合先の照合桁数を設定する

<p>「照合先」を選択します。</p>	<div data-bbox="954 232 1281 409" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>照合カラム設定 1 照合元 2 照合先</p> <p style="text-align: right;">決定 戻る</p> </div>
<p>「照合する数」を選択してください</p>	<div data-bbox="954 477 1281 654" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>照合先設定 コード〇側から照合 開始桁数： 2 照合する数： 3</p> <p style="text-align: right;">リセット 決定 戻る</p> </div>
<p>開始位置から何桁照合するかを設定します。 「コード左側から照合」のとき、開始桁数を「2」、照合する数を「3」に設定してバーコード「12345」を読み取った場合、「234」の部分で照合に使用します。</p>	<div data-bbox="954 719 1281 896" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 桁</p> <p style="text-align: right;">確定 選択 1つ消す</p> </div>
<p>確定後反映されているのを確認して下さい。</p>	<div data-bbox="954 958 1281 1135" style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px;"> <p>照合先設定 コード〇側から照合 開始桁数： 2 照合する数： 3</p> <p style="text-align: right;">リセット 決定 戻る</p> </div>

◆端末番号設定

バーコードのデータの後ろに端末番号を付加します。

複数の端末で読み取りを行った際にどの端末で読み取ったかを確認する際に使用することができます。

<p>TOP 画面に戻ります。 ※MD100の電源を一度OFFにして再度ONにして右のような画面にするとすぐにこの画面になります。</p>	
<p>上か下にカーソルを移動して「端末番号設定」を選択してください。</p>	
<p>付加しない場合は「付加しない」、付加する場合は「付加する」を選択します。</p>	
<p>「付加する」を選択すると右の画面になります。</p>	

○番号入力操作方法

項目	説明
十字キー	カーソルを移動します。
スキャンキー	カーソル位置の数字を入力します。
左上キー	入力した番号の確定を行ないます。
右上キー	最後に入力した数字を一つ消します。パソコンなどのバックスペースキーと同じような動きをします。

◆ファイル操作

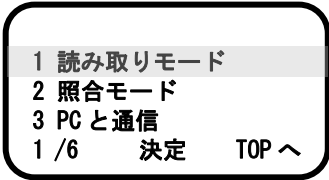
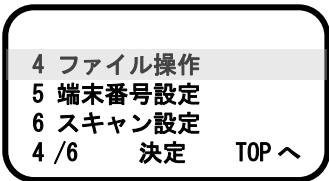
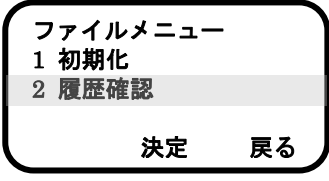

履歴確認

読み取ったバーコードの履歴を確認できます。

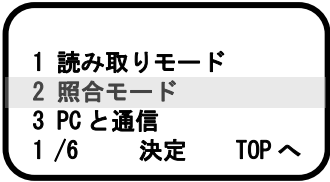
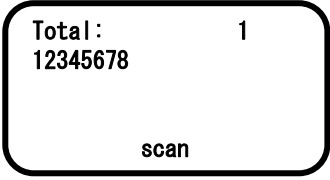
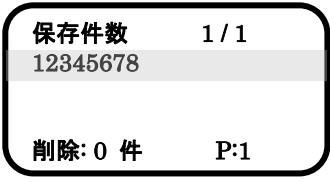
また、誤って読み取ったバーコードの削除予約も可能です。

履歴を確認するには二通りのモードから確認ができます。

1. ファイル操作から確認する

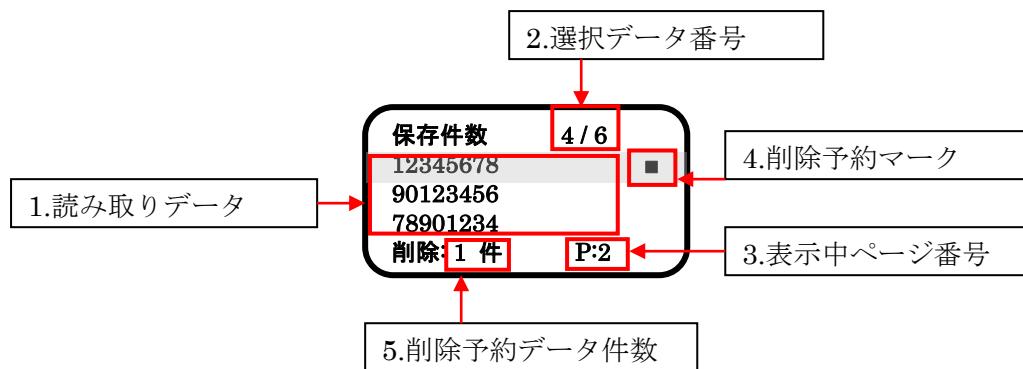
<p>TOP 画面に戻ります。 ※MD100 の電源を一度 OFF にして再度 ON にして右のような画面にするとすぐにこの画面になります。</p>	 <p>1 読み取りモード 2 照合モード 3 PC と通信 1 / 6 決定 TOP へ</p>
<p>上か下にカーソルを移動して「ファイル操作」を選択してください。</p>	 <p>4 ファイル操作 5 端末番号設定 6 スキャン設定 4 / 6 決定 TOP へ</p>
<p>「履歴確認」を選択します。</p>	 <p>ファイルメニュー 1 初期化 2 履歴確認 決定 戻る</p>
<p>履歴確認画面を表示します。</p>	 <p>保存件数 1 / 1 12345678 削除: 0 件 P:1</p>

2.照合モードから確認する

<p>「照合モード」にカーソルがある状態で決定ボタンを押します</p> <p>※この画面ではない場合は一度電源を切り、もう一度電源を入れなおしてください。</p>	 <p>1 読み取りモード 2 照合モード 3 PCと通信 1 / 6 決定 TOPへ</p>
<p>左の画面に切り替わったら左キーを押します。</p> <p>※常時照射モードを選択の際は「左上キー」を押しながら「左キー」を押してください！</p>	 <p>Total: 1 12345678 scan</p>
<p>履歴確認画面を表示します。</p>	 <p>保存件数 1 / 1 12345678 削除: 0 件 P:1</p>

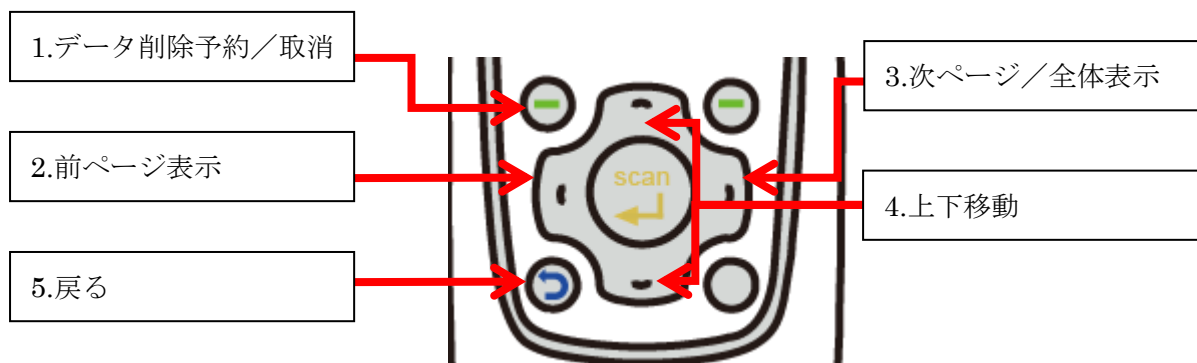
3.履歴確認モード操作説明

読み取り履歴の確認や読み取ったデータの削除予約をすることが出来ます。



項目	説明
1.読み取りデータ	読み取ったバーコードを読み取った順に表示します。
2.選択データ番号	選択した番号が何番目のデータかを「選択データ番号 / 全データ件数」の形式で表示します。
3.表示中ページ番号	現在表示しているページ番号を表示します。
4.削除予約マーク	削除予約指定されたデータであることを示します。
5.削除予約データ件数	削除予約されたデータの件数を表示します。

・操作方法



項目	説明
1.データ削除予約／取消	データ削除の予約あるいは取り消しを行います。 削除予約をしたデータの右端には「■」マークを表示します。 削除予約したデータはPCへの取り込みにおけるCSVデータ変換の対象から除外します。
2.前ページ表示	前ページを表示します。
3.次ページ／全体表示	その他設定（本体側）の「履歴閲覧設定」で「スピード優先」を選択していると次ページを表示し、「右矢印で全体」を選択していると、右矢印を押している間は画面内に収まりきれなかった部分も含めたデータの全体を表示します。
4.上下移動	カーソルを上下に移動します。
5.戻る	前の画面に戻ります。

メモリの初期化

メモリの初期化は次の手順で行なってください。

No.	説明	画面
1.	MD100 の電源を一度 OFF にして再度 ON にして右のような画面にしてください。	 <p>1 読み取りモード 2 照合モード 3 PCと通信 1 /6 決定 TOPへ</p>
2.	「ファイル操作」を選択します。	 <p>4 ファイル操作 5 端末番号設定 6 スキャン設定 4 /6 決定 TOPへ</p>
3.	「初期化」を選択します。	 <p>ファイルメニュー 1 初期化 2 履歴確認 決定 戻る</p>
4.	「フォーマットする」を選択します。	 <p>ファイルメニュー 1 フォーマットしない 2 フォーマットする 決定 戻る</p>
5.	初期化が開始されます。	 <p>ファイルメニュー 1 フォーマットしない 2 フォーマットする 初期化中... 決定 戻る</p>
6.	右のような画面に戻ったら初期化完了です。	 <p>4 ファイル操作 5 端末番号設定 6 スキャン設定 4 /6 決定 TOPへ</p>